

# 分別の徹底を 衣類、タオル、ひも類は「生ごみの収集日」には出さないでください！

生ごみの収集日に出せるのは、「生ごみ」と「紙おむつ類」のみです。その他のものが混入すると、生ごみバイオガス発電センターの機械破損を引き起こします。分別と排出のご理解とご協力をお願いします。



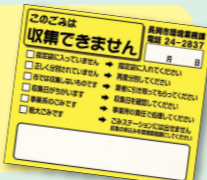
## 収集されないごみゼロへ 生ごみと資源物は午前8時30分までにしましましょう

ごみと資源物の収集は、午前8時30分から夕方まで行っていますが、その日のごみの量、天候、交通事情などによって収集時間や収集経路が変わります。収集後に出されたごみは、そのまま、ごみステーションに残り、町内会などのごみ当番の負担につながります。収集後に出されたごみの再収集の対応はできませんので、午前8時30分までにごみ出しをするようご理解とご協力をお願いします。



### 自分のごみが残されていないか確認しましょう

分別間違いや曜日間違いのごみは、収集せずに作業員が黄色のステッカーを貼ります。自分のごみが残されていたら速やかに回収し、出し直しましょう。



## もしもの時の心構え 災害時のごみについて

大規模な災害が発生すると、大量のがれきや家具、家電などのごみが一斉に発生します。避難通路の妨げや復旧の遅れにつながりますので、災害時においても公園や道路には、ごみを捨てないでください。家庭から出た災害ごみは、**無料**で収集を行います。(透明または半透明の袋に入れてください。)片付けの際は、「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」、「粗大ごみ」に分別をお願いします。収集方法は、災害発生時にチラシなどでお知らせします。

**平常時からの備え** 日常生活の中で災害ごみを減らすことができます。

- ① 家のまわり、家の中にある不要な物は処分しておきましょう。
- ② 家具は転倒して壊れないように、固定しておきましょう。



3R (Reduce, Reuse, Recycle) を生活の中に

リデュース Reduce ごみを出さない  
リユース Reuse 繰り返し使う  
リサイクル Recycle 再び資源にする

# ながおかの ごみ改革

ご家族みなさんでお読みください

この情報誌では、長岡市のごみの現状や、ごみの減量とリサイクルを進めるための取り組みを紹介していきます。



長岡の環境キャラクター ペギーちゃん

## リチウムイオン電池などは、「燃やさないごみ」で出さないで！ 「有害危険物」の収集日に出すことができます。

収集場所	収集日	対象の電池等 (家庭で使用したもの)	出し方
各町内会などのごみステーション	「有害危険物」の収集日 (月2回・無料) ※4月から名称を変更します。(次ページ参照)	●リチウムイオン電池 ●ニカド電池 ●ニッケル水素電池 ●電子たばこ ●モバイルバッテリー本体	①充電式電池を機器から外す。(電子たばこもモバイルバッテリーはそのままでOKです) ②金属端子部分にテープを貼り絶縁する。 ③透明または半透明の袋に入れ、口を結び、「キケン」と表示する。(有害危険物と一緒に出せます)

リチウムイオン電池などの小型充電式電池は、強い圧力がかかると発熱・発火し、収集車両や処理施設の火災事故につながり、作業員や建物に重大な被害を及ぼす恐れがあります。

**危険ですので、「燃やさないごみ」では出さないでください。**

これまでと同様に家電量販店・ホームセンターなどの排出協力店へ出すこともできます。

排出協力店については、「一般社団法人JBRC」のホームページから確認できます。(下記QRコードから) 協力店に出せるものは、リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池のみです。

デジタルカメラなど様々なものに使われているから確認してみよう！

電池を機器から取り外してください。

Li-ion リチウムイオン電池	Ni-Cd ニカド電池	Ni-MH ニッケル水素電池

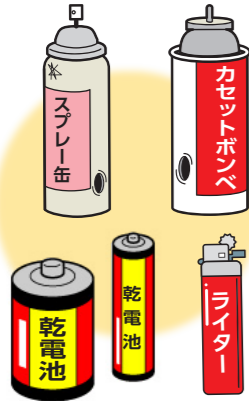
リサイクルマークが目印です！

▼リンク用QRコード

4月から

# 「有害危険物」の名称を変更します

「有害危険物」として分別、排出すべきスプレー缶などが、間違っ「燃やさないごみ」として出され、収集車両や処理施設の火災・爆発事故が多発しています。これを防ぐため、わかりやすい名称に変更します。



変更前の名称  
**有害危険物**

変更後の名称  
**スプレー缶類・発火物・有害物**  
※品目・出し方は今までと同じです

出し方

必ず「スプレー缶類・発火物・有害物」の収集日に出してください。各品目をまとめて、同じ袋に入れてもOKです。

● **スプレー缶、カセットボンベ、ライター**

- ① 中身を使い切り、必ず風通しの良い屋外でガスを抜いてください。
- ② 透明または半透明の袋に入れ、袋の口を結んで「キケン」と表示してください。  
※屋内でガスは抜かないでください。どうしても、ガス抜きができない場合は、環境業務課へご連絡ください。

● **乾電池、コイン型電池(型番がCR、BRで始まるもの)、水銀体温計、水銀温度計**

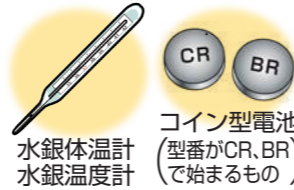
透明または半透明の袋に入れ、袋の口を結んで「キケン」と表示してください。

● **蛍光管(LED製品含む)**

- ① 割れないように紙に包んでください。(割れているものは、「燃やさないごみ」です。)
- ② 透明または半透明の袋に入れ、袋の口を結んで「蛍光管」または「LED」と表示してください。  
※買ったときの容器に入っていれば、袋に入れる必要はありません。

下記のリチウムイオン電池などの小型充電式電池も一緒に袋に入れて出すことができます。  
出し方は、この情報誌の表紙を参照してください。

- リチウムイオン電池 ● ニカド電池 ● ニッケル水素電池
- 電子たばこ ● モバイルバッテリー本体



わが家も  
挑戦中

## 家庭でできる 「生ごみ」の減量とリサイクル

家庭で出た生ごみを堆肥に変えて、ガーデニングや家庭菜園で活用してみませんか?

栄養たっぷりの土で元気な花やおいしい野菜が育ち、ごみも減って喜びもひとしおですよ。

生ごみを堆肥に変える「堆肥化容器」の購入費を補助します

補助対象

市内に住所があり、市内の農協やホームセンターなどの指定取扱店から堆肥化容器を購入して自宅で使用する人

補助額と台数

購入額の半額【上限3,000円、1世帯2台まで】

申請方法・申請先

指定取扱店にある補助金申請用紙に必要事項を記入し、環境業務課または各支所市民生活課へ郵送または持参

指定取扱店はこちら  
(PDFファイルが開きます)

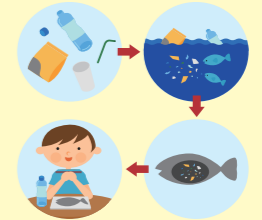


排出量が  
世界で2番目

# 「プラスチックごみ」の削減に取り組みましょう

● 日本は、一人当たりのプラスチック容器包装の排出量がアメリカに次いで世界で2番目に多い!

日常生活のあらゆる場所で利用されているプラスチック。便利な一方で、ポイ捨てなど不適切に処分されたプラスチックごみが大量に海に流れ出て海を汚し、生き物への影響、さらに私たちの体や産業への影響も心配されています。



### 3Rを基本にしたプラスチックとの賢い付き合い方

✓ **ごみになるものを減らす(リデュース)**

マイバックを持参してレジ袋をもらわない、マイボトルやマイ箸を持ち歩くなど、使い捨て容器や食器を減らしましょう。  
買い物ときは簡易包装を頼みましょう。

✓ **繰り返し使う(リユース)**

詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選んだり、食品の保存はふた付き容器を使い、ラップの使用を減らしたりしましょう。

✓ **原材料として再生利用する(リサイクル)**

プラスチック容器包装材はできるだけ分別して出しましょう。

きれいな海と生き物を守るために、ポイ捨てや不法投棄はやめましょう!

事前  
申込制です

## 「粗大ごみ」収集の申し込みはお早めに!

「粗大ごみ」とは指定ごみ袋に入らないもので、収集方法は事前申込制の戸別収集です。  
例年、春は引っ越しなどの理由から家庭から出る粗大ごみ収集の申し込みが集中し、申込状況によっては収集日をご希望にそえない場合があります。収集の申し込みは、お早めをお願いします。  
電話での申し込みで、混み合っつながりにくい場合は、時間をずらして電話してください。

粗大ごみ収集の  
詳細はこちら



申込方法	受付日時	収集日時等
専用電話 0258-25-0053	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時 ※祝日・振替休日・年末年始は除きます。	月曜日～金曜日 午前8時30分～夕方までの間 ※祝日・振替休日・年末年始は除きます。 ※収集日は、受付の数日後になります。 ※収集時間の指定はできません。 ※1回に収集できるのは5点まで。 ※留守でも収集します。
専用FAX 0258-25-0064	年中24時間 受信 ※受付後に確認のため電話かFAXで返信します。 (休日受信分は休み明けに返信します。) ※FAXを受信できる状態にしておいてください。	
インターネット 	年中24時間 受信 ※市ホームページの電子サービス「電子申請・届出」から申し込みください。 ※携帯電話からは、左のQRコードをご利用ください。 ※受付後にメールか電話で返信します。(休日受信分は休み明けに返信します。) ※メールを受信できる状態にしておいてください。	



家電リサイクル法対象品目(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機)や処理が困難なものなどは収集できません。  
使える物は人に譲ったり、リサイクル協力店に引き取ってもらうなどリユース(再使用)を検討しましょう!

リサイクル協力店はこちら  
(PDFファイルが開きます)

